

第30回遠野市農業委員会総会 議事録

日時 平成23年5月18日(水)

場所 遠野市役所3号館3階大会議室

会議出席委員

1 小森 清市	2 濱田平八郎	3 小沼 秀昭		5 佐々木収一
	7 藤原千代子	8 菊池 信夫		10 及川 傳弘
11 江川 幸男	12 菊池 正明		14 八重樫正昇	15 古屋敷徳夫
16 奥寺 晴夫	17 菊池 孝	18 菊池 昇	19 菊池 政實	20 君崎 敬孝
21 松田 欣一	22 昆野 征策	23 昆 明美	24 佐々木義弘	25 山崎登久昭
26 新田 佐悦	27 似田貝順一	28 菊池 正明	29 森川 亦	30 白岩 孝
31 菊池 信子	32 佐々木康吉	33 北湯口 進		

会議欠席委員

欠席届出 4番 浅倉 利一、9番 佐々木征夫、13番 綱木 秀治

欠席者 なし

遅刻者早退者 なし

事務局 事務局長、事務局次長、農地係長

関係機関 なし

会議日程

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議長就任
- 4 農業委員会憲章朗唱
- 5 事務事業経過報告
- 6 会議の成立
- 7 議 事
議事録署名人及び書記の指名
議案第2号 平成22年度遠野市農業委員会業務報告について
- 8 その他
東日本大震災に係るお願いについて
- 9 閉 会

(午後1時30分)

【開会】

事務局 長

それでは案内の時間となりましたので、ただ今から第30回遠野市農業委員会総会を開会いたします。議長就任まで進行を務めさせていただきます。

最初に北湯口会長からご挨拶を頂きます。

会 長

最も忙しいこの時期に多数参加いただきましてありがとうございます。先の大震災大津波によりまして、いまだ避難生活をしている方が23名おります。亡くなられた方も3名おられます。先ほどの会議にもでておりましたが、いま復興に向けて全精力をかたむけて頑張っておられるということで、我々農業委員としてどのような支援をしていくべきか、どこまで入り込めるのかということ、当面は金銭、物資の支援はあるということでしょうか。今後の農業は原発の関係もあり非常に厳しいのではないかと予測されます。新聞にも出ておりましたが、滝沢村にも原発の影響が出ている。福島原発で第1回目の水素爆発が起こった時、当然上空にそういった物質があるのではと思われたわけで、それが先日の雨に乗って滝沢の草地にも影響があり、滝沢だけではないと私は思いますが、そこを調査したらセシウムなるものが出てきたということでございます。そんなに心配することではないといわれておりますが、やはり汚染されているということに関しては、報道機関は慎重な取り扱いをしてもらいたいと思っております。いずれにしても、福島県、茨城県その辺に関しましては、今年は農作物が果たして取引されるのか、懸念があります。千葉沖の漁業者にとっては、キロ当たり300円近くした魚がいま80円だそうです。油代にもならない。大変な状況なわけですし、これから夏に向け南からの風、台風等々によってさらにこちらにもいろいろな風が吹いてくるという状況になった時、どうなるんだと大きな心配をしております。本当に大変困った状況であります。

国ではTPPに関しては、先送りということになって、現在はまだこの件に関しては動いていない状況でございます。ある一部においては、TPPに参加して、いわゆる復興のはずみにした方が良いではということをする方もいるようですが、いかなるものかという感じもしております。我々農業委員会としては、とにかく先ほどもお話しましたが、いずれ課せられた使命、責任を持ってそれを遂行していくということが一番に課せられたことであるわけでありまして。

我々は、市政のやっばりご意見番としてですね、特にも農業に対してはプロフェッショナルということで位置づけられております。同時に農業者の公的代表ということで農家の意見、考え方を市政に反映させていくということが任務でありまして、それと同時に土地を安全な方向に向け、そして守っていくことが我々の使命であります。残念なことに、いま市の方では農業委員会の動きが見えない、わからないという声が聞こえてきております。いろいろな分野で全ての事において質量ともに増加している中で、どうも見えづらいという声が聞こえてきます。私は正直言って、本当に農業委員会の農業委員の仕事が理解されているかと疑問があるが、しかしそういう意見があることは率直に受け止めていかなければならないと感じています。我々は毎月活動し、活動記録カードなるものを提出し、今年度今月こういう活動をしたと報告しているが、ただの報告となって農家と親身になって接していないのではといわれて大変残念です。以前の全国会長会議でも、こういうことをいわれましたが、我々は自分をアピールすることが下手ではないかと。農業委員は月1

度の部会、現地確認で終わっているんじゃないか。という人もいます。これは遠野に限らず全国的に言われているわけですが、ところが、農業委員はそれだけではないわけですし、ここに農地の貸し借り、売り買いの仲介をしたり、地域の相談に入ったりしているわけで、そういうアピールが非常に下手なのではないかと農業会議所では言っていました。そういったものをどやって我々は解消していったらいいのかなと、それはやはり行動しかないのかなと私は思っています。もうひとつには、市なり、県なり、国なりの動向をいち早く察知して動いていかなければならないのかなと、私もつくづく感じていますがもっともっと勉強しなければならぬと私自身感じています。今、市では市役所の支出を少なくしていこうとスリム化、あるいはいろんな部分の経費を削減しているところで、我々農業委員会としてもそういうことを全く無視して進んでいくわけにもいかない。ということも念頭に置いて皆さんに行動していただきたいということでございます。そういったことをきちっと前向きに考えていくことが、農業委員会の信頼とか、やる気とかを少しは解ってもらえる部分もあるのかなと、それだけではございませんけれども、そういったことも考えてございます。いずれ風当たりは非常に厳しいです。特にこの震災後は各機関、農業委員会だけでなく各機関の風当たりがとて強いということが言われております。県のような受け皿になっている機関においてもバッシングが強いということですが、それと私たちは違うと思いますが、いずれそういうことを考えながら、一人一人が農業委員である、公的代表である、あるいは準公務員であるということの自覚をさらに強く持っていただいて、この難局を超えていただきたいと思っております。長くなってきましたが、農業委員としての自覚と誇りを強く持っていただいて、特に会議等の出席については、ぜひ皆さん方をお願い致します。これは規則に出ておりますので、欠席する場合は欠席届けを出す。会議には出席しなければならないとなっております。これは基本であります。しかし、どこそこの身内が亡くなった、隣近所で不幸があったといったようなときには、仕方がないこともあると思っておりますが、基本的には会議には出席することになっております。欠席してよいとはなっていません。是非そのところをご理解をいただきまして、この忙しい時期にご出席いただいた皆さんにこのような小言のような話するつもりはありませんが、ただ意識としてご確認いただきたいということでお話をさせていただきました。簡単であります。が挨拶とさせていただきます。

【議長就任】

事務局長

たいへんありがとうございました。

続きまして議長就任になりますが、遠野市農業委員会会議規則第9条の規定により会長がその任に当たることとなっておりますので、議長は会長をお願いいたします。

【農業委員会憲章朗唱】

議長

会議の進行を務めさせていただきます。

始めに農業委員会憲章の朗唱を行います。前段を議席番号3番、小沼秀昭君にお願いいたします。後段を全員でご唱和願います。

3番委員

(「遠野市農業委員会憲章」朗唱により記載省略)

議 長	<p>【事務事業経過報告】 事務事業報告を行います。事務局長をして事務事業報告を行います。</p>
事 務 局 長	<p>(「遠野市農業委員会事務事業経過報告書」朗読により記載省略)</p>
議 長	<p>【会議の成立】 本日の出席委員数について事務局から報告させます。</p>
農 地 係 長	<p>委員総数 32 名中、出席委員 29 名、欠席委員は 3 名です。 欠席届者は、4 番 浅倉利一委員、9 番 佐々木征夫委員、13 番 綱木秀治委員です。 以上です。</p>
議 長	<p>ただ今事務局から報告がありましたとおり、出席者が半数を超えておりますので、遠野市農業委員会会議規則第 11 条の規定により会議は成立しております。</p>
議 長	<p>【議事録署名人及び会議書記指名】 これより本日の議事日程に入ります。 日程第 1、議事録署名人及び書記の指名に移ります。 お諮りいたします。議事録署名人及び書記の指名につきましては、遠野市農業委員会会議規則第 13 条の規定により当職から指名する事にご異議ありませんか。 (「異議なし」の声あり)</p>
議 長	<p>ご異議なしと認め、議事録署名人に議席番号 5 番、佐々木収一君。同じく 7 番、藤原千代子君を、書記には事務局磯谷洋子君を指名いたします。</p>
議 長	<p>【議事】 日程第 2、議案第 2 号、平成 22 年度遠野市農業委員会業務報告についてを議題といたします。 事務局の説明を求めます。</p>
事 務 局 次 長	<p>それでは提案について説明をいたします。 (以下「議案第 2 号、平成 22 年度遠野市農業委員会業務報告について」朗読の 為記載省略。</p>
議 長	<p>説明が終わりました。 これより質疑に入ります。 質問、意見のある方は発言をお願いします。 尚、発言の際は始めに議席番号とお名前をお願いします。 何かございませんか。</p>

20 番 委員 20 番です。一月にかけて農家台帳の調査をしましたが、その際に有害鳥獣の調査をした訳ですが、それで自分の受け持ちの調査をして報告しましたが、その後の動きがどこにも出てこないの、市全体の関係もあるかと思いますが、後日で構わないので、特にも熊の部分やカラスの報告もしたと思いますが鹿とかですね、これからの動きの参考にして、例えば畜産部会の方でもやらなければならないと思うので、具体的に示して欲しいと思いますが。

議 長 事務局答弁してください。

事務局次長 はい、農家台帳調査と合わせましてみなさまに調査いただいた鳥獣被害調査は、ただいま集計中でございまして、出来し次第、振興部会で協議していただいて各委員会等に示していきたいと思っております。

議 長 そうゆうことでございます。他には。

17 番 委員 17 番、菊池孝です。予算の執行状況についてですが、歳入歳出の予算決算がほしい同額で進められている中で、歳出の農家台帳整備事業費が 70 万円ぐらい違うんですが、これはどうゆうことか説明をお願いします。

議 長 事務局答弁してください。

事務局次長 この農家台帳整備事業費につきましては、平成 22 年度に新たに地図情報システムを導入しました。その経費です。

議 長 予算に対して決算額が減っていることの説明をお願いします。

事務局次長 予算は見積設計額で予算化するわけですが、入札時に安く札が入ったということで減額になったわけです。

議 長 よろしいですか。

17 番 委員 あと一つ。4 ページの総会の 26 回の議案 1 号ですが平成 20 年度でよいですか、21 年度じゃないですか。

事務局次長 ここは 21 年度で訂正をお願いします。

議 長 それでは、4 ページの一番上の議案 1 号について 21 年度に訂正願います。他にございませんか。

22 番 委員 22 番昆野です。冒頭の会長の挨拶で農業委員会の活動が見えないというご批判を頂いているというお話が有りましたが、先ほどの 22 年度の目標及び達成に向けた点検評価はホームページの方に掲載されるという認識をしているんですが、この中で、これは十分に運営委員会で審議なされて提案されていると思いますが、この

中で例えば遊休農地に関する指導で、その対象者が、83人いるということですが、改善が0筆で何も指導しないということと捉えたんですが、こうすると農業委員会としても何もしていないのかということになるのではないかと捉え方になると思います。

議長 事務局答弁してください。

事務局次長 この83人対象者がいたということについては、昨年度の農地パトロール・農地利用状況調査で判明したものでございますが、これは、農業委員会で指導することになっておりましたが、農業者に対して指導の通知を出すだけでは実際には解消にはならないとございますので、耕作放棄地解消対策部会と協議をしましてどのような作物を作ればよいかといったような関係機関が連携して活動しなければならなかったことがございまして、把握はしましたが22年度については指導までには至らなかったということとございました。たしかに委員がおっしゃるように、件数が0件でございますので活動していないと言えはそのとおりですが、調査をしてどのようにしたらよいかを関係機関と検討して、23年度については、解消に向けた活動をしたいと考えています。

22番委員 確かにわかりました。この点検評価について、この努力継続中だというような表現がないと、ただ資料抽出しただけで運営委員会で何もやっていないのではないかとといったように、一般の人たちが見ればそう捉えると思いますよ。私が遊休農地に付いてお話しましたが、他にもそのように感じる部分があるわけですよ。そういった一つ一つがホームページに掲載されるようになりますともっともっと精査しないと、一般の人は私たちより更に誤解を招くわけですし、活動中や取り組み中であれば、それを22年度は解消に結びつかなかったけれど、23年度に解消する予定だというようなことまで載せないとも何もやっていないように思われる。そう言った一つ一つが農業委員会に対する一般の人の認識が、みんながホームページを見るわけじゃないだろうけども、そういった意識をもった人はやはり見ると思いますので、そのへんの神経は使う必要があるだろうと思います。

議長 冒頭で私は挨拶で触れましたが、全国農業会議でも言っておりました。つまり2動いたら5動いた表現をしろということで、ようするに2動いても2動いたようにみなされていない、5動いても同様である。ですから、訴え方が下手なのではないかというようなことで、極端な話ですが水増しではなくて上手に表現しろということで有りまして、22番委員が言われたようなことは、表現力ということで、この辺は事務局どうですか。

事務局次長 これは単純に0ヘクタール0件となっておりますが、関係機関との協議等はしておりますので、そのように表現したいと思います。

事務局次長 ただ今、昆野委員からご指摘があったこととございますが、そのとおりでございます。これは耕作放棄地全体調査の数字を載せてございますが、これは農地法の改正によって遊休農地の所有者には農業委員会から通知をすることになっており

ます。これはその通知をしなかったということでありまして、それ以外の委員個別の遊休農地解消に向けた活動はしているわけでありまして、これが載らなかったということでありまして、これは全国農業会議所等から示された様式に基づいて記入しますと何も活動をしていないように取られかねませんので、今度の事務局長会議の時にその部分を指摘して活動が見えるようにしていきたいと思えます。

議長 他にはございませんか。

8 番 委 員 8 番、菊池信夫です。今まで話し合われたことに関連ですが、会長が挨拶で活動が見えないという話をしました。しかしこの議案第 2 号の業務報告書を見る限りでは、だいぶ活動しているわけです。このことをピアールしないから一般がわからないということになると思えます。農業委員会だより何かにはこれを載せることはできないですか。1 ページや 2 ページでは足りないと思えますが。たまには上期下期とかに分けて載せるのはいいことじゃないかと思うんですがどうでしょう。

事務局次長 農業委員会だよりの方にもどのような活動をしているかといったことは載せております。もちろん全部が載っているわけではないですが、その一部を載せておりますので、今後ピアールできるように工夫してまいります。

8 番 委 員 やはり、見てる人たちは、これしかしてないのかなと思うわけですからみんな載せたほうがいいのかと思えます。一年に 1 回くらい。私はそう思えます。

議長 この農業委員会の活動に関してわかる人は当然分かっています。一生懸命活動しているなという人もいます。この間まで一生懸命だったが、今度はあまり見えないなという人もいます。これは人というものは様々ですから、我々はさきほど挨拶で言わせていただいたとおり、やらなければならないことをきちんとやっていくということと、今震災復興に向けて、これがいい契機になるのかなということ、農業委員会の必要性が今こそ訴えられるということなのかなと、ひとつには被災者が遠野に來たいとなったときに、どこか住む土地が欲しいとなったときに農業委員会の出番があるわけですから、素早く対応できるというような農業委員会ならではの力を発揮していきたい。あとはこれからの課題ですが、長期的になると思いますが、被災者の状況によってですが、この中で我々が何ができるのかといったようなことを模索していかなければならないのではないかと。少し話がずれましたが、そのような形で農業委員会の存在感を現していける時期が来るのではないかなと思っています。

23 番 委 員

23 番です。今のことに関連なんです、今回の災害があった当初北上の認定農業者協議会から私に直接電話がありまして、農業振興部会長だということ、申し出があったわけですが、私たちも何か協力したいが何をしたらいいかわからないということで、しかし私も何をしたらよいかかわからないので、事務局に問い合わせをしてくださいとしか言えなかったんですが、皆さんがどうゆう動きをしたかはわかりませんが、遠野市の農業委員会として災害時に何をしたらよいか、自分として歯がゆい思いをしたんですが、そうゆうことで農業委員会としての動きが見えないという

議長

ことだったんだろうかというように自分で考えていたんですが、みなさんがどう考えているかわかりませんが、自分としては地域の炊き出しとか自分のできることはやったんですが、農業委員としては何もできなかったなと、動きが取れなかったなと反省しております。事務局も忙しくて大変だったろうと思いますが、こんな時だから農業委員はなにか集まりを持って話し合いでもしたほうがよかったのではないかと考えたりもしたんですが、今になってですが、自分でもよくわからないので皆さんの意見もお聞きしたいのですが。これは自分の思いだけですが、お聞きしたいと思います。

今回の震災に関しては、農業委員としてどうのこうのといったことは、何も求められたことでもありませんし、正面切ってこれがああだこうだということでもありません。ただ、後方支援として何ができるのかなということで、農業委員会の活動が云々というのは震災のことではありません。普段の活動の中でなかには農業委員は何やっているんだろうということもあれば、一生懸命やっているということもあり、それは千差万別ですが、正直なところ、ここ何年間農業委員会が必要ないという意見が今でも出ています。これは国会議員でも、市の役人でも言っている人がいます。遠野市ですが。そういった中でなぜなんだろうということなんですが、物事を合理的に考えて無駄を排除しようという人もいるかもしれませんが、農業委員会というのは全く独立したものであり、議会などとは全く違うわけですよね。ですから国で定められた法律にのっとった中で、決まりの中でやっている中で、農業委員会が必要とか必要でないということはいかがなものかなと思います。その中には今言われているように農業委員会の動きが見えませんかよと、活動しているかもしれないけども、親身になって農家に心底触れているのかなという疑問もぶつけられていることも事実です。それを言われるということは我々は真摯に考えなければならぬのかなということであり、いくらやっていると言ってもなんともならないわけです。そういった部分ももう一度確認しなければならないのかなという意味で、言葉足りずなところもあったかもしれませんが、そうゆうふうにならぬに苦しい、震災でいろんなところにお金が回っているところにしわ寄せがいて、いろんなところをつつかれるということで、それだけ世の中がギクシャクしていると受け止めています。そうゆうなかで我々農業委員会は何ができるかということで言わせてもらいました。ですから我々は常にそうゆう立場にあるんだということでもあります。例えば会議についても会議は出席しなければならないものであるということでもあります。そういったことをもう一度確認しましょうということですよ。

17 番 委 員

先ほどから農業委員の評価が薄れてきているという話であります。震災後に私のところに釜石の方二人と遠野の方が相談の電話があった訳です。ひとつは昨日鱒沢の現地確認があったわけですが、釜石から上組町にお嫁に来た学校の先生がいて、釜石の実家が流されてしまって、そこには家が建てられない。鱒沢に古い家を買って農地も買いたい。それで許可になりますかという相談だったんですよ。聞いてみたらそこには誰もいないし耕作放棄地になっている。買った家を直してから農地を耕したい。確認に来るときに農地を使っていない場合に処罰されませんか。という相談でした。おそらく宮守の委員から出るだろうから、委員会には私からも話しておきますが、釜石から来てもらって耕作放棄地が解消されるなら大歓迎でし

ようと言ったら、そのことで安心している人もあります。あとは家を流されたので土地を見つけて欲しいと言う相談が2件ありました。これは住む土地なのか農地なのか確認してやらなければならないと思いますが。特にこの鱒沢の件はどこから聞いたのかと思ったらで・くらすから紹介されて、見に来たら気に入ってその場で決めたということで、そうゆう相談もこれからどんどん出てくると思います。そうゆうことを農業委員会だよりを通じて、こうゆうことがありましたというような外部との相談なりこのような宣伝は、さきほど信夫委員が言われたように年2回と言わず四半期ごととかに出す勢いがあるのもいいのではないかと思います。これからおそらくそのような相談が来ると思います。

議長

昨日の会議でも釜石の会長が言っておりましたけれども、遠野の方に住みたいという人がかなりいる。おそらくそういった農地を世話をする必要も出てくるでしょうと言っていました。商店街の方は商売は長年ここでやったのでお店を持ちたいけども住むのは遠野がいいという人もいますようです。これははっきりしたわけではありませんが、そうゆうような感覚的な話かもしれませんけれど、いずれこれから農業委員が活躍するときに来るものと思っています。17番委員に関連した話ですけども。

事務局長

よろしいですか。今の話に関連したことですが。前回の総会の席上で、そのようなことが予想されることから、農業委員32名の力添えを頂いて、農地の提供をしても良いという情報をお願いした経緯がございます。先程の鱒沢の件もすでに知っておりましたが、山田町、大槌町、釜石市については首長が市町村外に行かれてしまうだろう、人口が減るだろうことは予想しています。そういった中で、土地を用意していますというようなこと言える状況ではございませんでしたが、相談された場合は乗らなければならないと思っておりますのでその整理をしております。先程振興部会長からも何をすればよいかということをお話がありましたが、そうゆう事務をとっておりますのでどんどんアイデアを出していただけたらと思っております。

議長

他に質問ございませんか

28番委員

28番です。菊池正明です。これは要請になりますが、今放射能で。私も遠野畜産公社を担当しておりますが、昨日一昨日畜産公社に大雪が降ったが公社の職員に草地に放射能がかかっていることがわかっているのか、畜産農家にかかっていることが分かっているのか、調べているのかと言いました。すると県の方からこうゆうことで来ています。と答えました。わたしはそうではなくて、しっかりと市の方で測定器を買って調べてみなさいと言いました。畜産だけではなくて田や畑もあるんだと、特に酪農は草を食べさせればすぐに放射能が出てくるという一刻を争う時に何をやっているんだと叱ったわけですが、農業委員会の方からも市なり県の方に対応するように要請をお願いしたいというところでもあります。お願いします。

議長

その件に関しては運営委員会で調整したいと思います。

議長

それでは発言が無いようですので質疑を打ち切りたいと思います。

お諮り致します。

議案第2号、平成22年度遠野市農業委員会業務報告については、原案の通り決定する事にご異議ございませんか。

(異議なしの声多数)

なお、平成22年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価についての意見募集に寄せられた内容によっては運営委員会で修正決定することにご異議ございませんか。

(異議なしの声多数)

ご異議なしと認めます。

それぞれの変更にかかわらず意見が寄せられた場合は運営委員会によって決定することにいたします。

よって議案第2号、平成22年度遠野市農業委員会業務報告については、原案の通りとする事に決定します。

議 長

以上をもちまして、本日予定しておりました日程の全てを終了いたしました。

その他に入ります。その他ございませんか。

事務局の方からは。

事務次局長

8番委員

被災地への後方支援として、委員一人あたり白米30キログラム提供する畑作振興部会で実施している菜の花が満開なので鑑賞してください

議 長

それでは長時間にわたりまして慎重なご審議ありがとうございました。

閉会にします、ありがとうございました。

(午後3時15分 閉会)

署 名

遠野市農業委員会会議規則第32条の2の規定により、ここに署名する。

平成23年5月18日

遠 野 市 農 業 委 員 員 5 番 _____

同 7 番 _____

遠 野 市 農 業 委 員 会 会 長 _____